

親愛なるフランクへ

その後、お元気でしょうか。先日はお会いできて大変嬉しく思いました。実は、あなたに会ったらなんと声をかけたらいいのか、言葉を見つけることもできかねていたのです。しかし、あなたは以前と変わらない笑顔で、私を迎えてくれました。

未だに、メアリーがもうこの世にいないということが信じられない気持ちです。メアリーの念願のヨーロッパ旅行からの帰宅途中でした。あなた方夫妻は、7人の子供達を立派に育て上げ、やっと楽しみにしていたヨーロッパ旅行に行かれたのでした。帰路、オレゴン州のポートランド空港に到着し、停めておいた車を運転して近くの息子さん夫妻の家を訪ね、それから自宅に向かいました。しかし、長旅の後できっと疲れていたのでしょうか。20マイルほど走ったところで睡魔におそわれ、車線はずれて道路際の大木に激突し、隣の席で眠っていたメアリーはほとんど即死だったということでした。駆けつけた救急車の隊員に、あなたは「私は妻を殺してしまった。」と言ったのですね。

メアリーの訃報をコーヴァリスの友人から受け取ったとき、ショックとともに、私の脳裏には留学時代に母親のようにいつも優しい笑顔で迎えてくれたメアリーの思い出が走馬燈のように巡り、同時にあなたが今どんなに衝撃を受けていることだろうと、想像もできませんでした。おくやみの言葉を書いては消し、書いては消し、結局手紙の代わりに花束に添えて“祈り”の言葉を送りました：

「神よ、私達に、変えることのできない事実を受け止める落ち着いた心をお与えください。

変えなくてはならないことを変える勇気をお与えください。

そしてその2つを区別する知恵をお与えください。」

(The Serenity Prayer, Reinhold Niebler)

私は今度のことであなたから多くのことを学びました。それは、つらい現実を直視する勇気と、自分がどんなに後悔と深い悲しみの時にあっても人を思い

やることを忘れないあなたのやさしい心と、そして常に変わらない感謝と祈りとユーモアです。

人は「取り返しがつかないことをしてしまった」と思うことがありますが、神様の目には「取り返しのつかないこと」はないのだ、ということが少し分かったような気がします。「一粒の麦が死ななければ．．．」というキリストの言葉を思います。私たちは、人の不慮の死に当たってよく、「あなたの死を無駄にしません」などといいますが、メアリーの死は悲しみの中にも既に私たちにこんなにも多くの恵みを与えてくれました。

デイブ、マイク、メアリー・ケイ、パッティー、ケアレン、スーザン、ブライアン、そしてそれぞれの配偶者の方たち、私は今度のことで、あなた方のメアリーとフランクへの思いやりを痛いほど感じました。あなた達はメアリーの葬儀を悲しいお別れの式に終わらせずに、メアリーの71年の生涯を記念する集いにしました。メアリーはあなた達の志をきっと天国で喜んでいると思います。

フランク、私はあなたのような友人を持つことを真に誇りに思います。体を大切にしてください。ではまた。お元気で。 フミオ